

Kato Tutoring School  
きびしく教え、あたたかく育む

2018年  
6月号

# NEWS LETTER

## 加藤の夏講

受験生にとって最後の夏

「本気」の友だちと一緒に

検索 加藤学習塾



1. 漢検：実施日は[6/9(土)]。

数検：実施日は[6/23(土)]。

英検：実施日は[6/2(土)]です。

2. 個人懇談のご案内：日程…6/4(月)～6/17(日) ※教室によって多少異なります。

お子様の塾での様子をお伝えし、またご家庭での日ごろの様子、気がかりな点、塾へのご要望などを詳しくお伺いし、今後の学習指導、塾活動に役立ててまいりたいと思っております。恐れ入りますが、お配りした「個人懇談申込書」にご記入の上、締切期日までに教室担当にご提出ください。お忙しい中、ご父母の皆さまにはご面倒をおかけいたしますが、よろしくお願い申し上げます。

3. 理科実験：「万華鏡」7月上旬

今回挑戦するのは万華鏡。のぞきこむだけで美しい無限の世界が広がります。自分だけのオリジナルワールド。少し揺らすとまた新しい小宇宙。光と影の神秘。塾生じゃなくても参加できます。工作の好きな友だちがいたら声をかけてあげてね。

4. 夏期講習：7/19(木)～8/12(日)

配布いたしております「夏期講習受講ガイド」をご覧ください、6月23日(土)までに受講確認書を提出くださるようお願いいたします。

## 受験生にとっては最後の夏

6. テレビに出たい人、集合!!

6月22日放送予定(深夜0:15～0:45)のRSK『ゆたんぽ』で加藤学習塾が紹介されます。テレビデビューしたい人はいませんか？収録は加藤学習塾の教室で行います。「出たーい！」という人は教室の先生に申し出てください。塾生じゃない友だちを誘うのOKですよ。

## RSK『ゆたんぽ』出演者募集!!

季

節

風

## これからの受験生活に必要なことは？

**大** 学入試改革の方向性を受けて、高校入試でも**思考力・判断力・表現力**を問う問題が増えています。受験生活も「机に向かってひたすら暗記と問題演習」という従来のイメージとは違ってくると考えられます。

今回は、これからの受験生活に必要なこと、保護者のかたに意識していただきたいポイントについてお話しします。



「やりたいこと」について根本的に話し合う機会を早めに持つ

現在、高校教育も大学入試も大きく変わろうとしています。

高校では、自分でテーマを見つけ、リサーチを行い、レポートやプレゼンといった形で発表する「探究」型の授業が増えていきます。

また、大学入試は、高校での学びの成果と大学で学びたいことをマッチングしていくAO・推薦入試が増える見通しです。つまり、言われたことをやるのではなく、「主体的な学び」が求められているのです。この方向性ととも、高校入試も変わりつつあります。

ですから、お子さまと是非、早い段階で「高校でやってみたいこと」「関心のある方向性」など、根本的なことについて話し合い、そこから進路について一緒に考えてあげるようにしてください。入試が近くなると、お互いに余裕がなくなり、どうしても「入れそうな学校」という視点でしか考えられなくなってしまいます。

「やりたいこと」を考えるきっかけとして、高校見学も早めに行くといよいでしょう。

## 「インプット」と「アウトプット」のしやすい環境づくりを

高校入試では、中学校で学んだ基礎事項をもとに、現実社会と関わりの深い、**初見の問題に対応する力**が求められるようになりつつあります。初見の問題に対応するためには、ふだんから様々な問題に関心を持ち、考える材料をたくさん仕入れておくこと（インプット）、材料をもとに自分なりに考え、人にわかりやすく伝えること（アウトプット）の両方が必要です。頭の引き出しの出し入れをスムーズにしておくといいいですね。

そのための環境づくりとして、ご家族のかたに心がけていただきたいポイントをいくつか挙げます。

### ・新聞を購読する・テレビなどのニュースを話題にする

社会の動きに関心を持つことは非常に大切です。ぜひ、日本や世界のニュースを話題にしてみてください。見方や考え方を「教える」のではなく、保護者のかた自身が気づいたことにちょっとコメントしたり、「私はこう思うんだけど……」というふうに分ごととして発言したりすると、お子さまにとっても考える材料になると思います。

### ・「自分のことは自分で」が基本

「受験生だから」お手伝いはさせない、勉強部屋の掃除や食事の片付け、洗濯物の始末、買い物など身の回りのことをすべてしてあげるといのは、今後の入試の方向性を考えればかえって逆効果になります。衣食住に関わること、たとえばスーパーの食材の並び方、産地や調理法ひとつとっても、考える材料がたくさん含まれているからです。

### ・子どもが「今好きなこと」「打ち込んでいること」は大切に

お子さまが今打ち込んでいる部活や趣味、習い事などがあれば、その時間は大切にしてください。部活は夏か秋に引退となる子が多いと思いますが、その経験はかけがえのないものだと思います。学生時代にスポーツや芸術に打ち込んでも、プロのスポーツ選手や芸術家になれる人は一握りですが、「好きなこと」を軸に身についた思考力・判断力・表現力は、高校入試はもちろん、大学入試にも、将来仕事を持つようになって、必ず役に立つでしょう。

(ベネッセの教育情報サイトより)



# 『銀河鉄道 999』

# 『宇宙戦艦ヤマト』

きれいな女性ですね。名は楠本高子。「明治の美人」という写真を見ていた漫画家松本零士が『銀河鉄道 999』のメーテルや『宇宙戦艦ヤマト』のスターシャのモデルにしたといわれている女性です。どこか寂しく涼しげですね。

生年は 1852 年、ペリー来航の前年。没年は 1938 年、国家総動員法が施行された年ですから第二次世界大戦の真只中です。

話が横にそれますが、この同じ年、岡山県苫田郡西加茂村で後に「津山 30 人殺し」と呼ばれる大

量殺人事件が起こっています。横溝正史の『八つ墓村』のモデルとなった陰惨な事件です。

## 「鳴滝塾」を知っていますか？

鳴滝塾というのは、文政 7(1824)年、シーボルトが長崎郊外に設けた私塾で、診療所も兼ねていました。

さて、フィリップ・フランツ・フォン・シーボルト。1823 年に来日し、長崎出島のオランダ商館医となります。彼はドイツ人でしたが、幕府にはオランダ人と偽りとおします。当時ドイツ人は入国できませんでしたから。

来日の翌年にはすでに開設された鳴滝塾ですが、ここで西洋医学(蘭学)を学ぼうと、日本各地から高野長英など多くの俊英が集まってきます。

このシーボルトには瀧という名の愛人がおりました。もともと瀧は商家の娘だったのですが実家が没落したため、「其扇(そのおうぎ)」という源氏名で丸山町の遊女となったのです。その後、日本人の出入りが制限されていた出島でシーボルトの「お抱え」となりました。たいへんな美人

だったようです。

そして文政 10(1827)年、二人の間にイネという名の娘が誕生します。成長しイネはシーボルト門下の二宮敬作から基礎医学を学び、石井宗謙から産科を学び、そして村田蔵六(のちの大村益次郎)からオランダ語を学びました。

大村益次郎について少し。彼は高杉晋作の奇兵隊創設を助け、戊辰戦争では長州兵を指揮し、事実上日本陸軍の創始者となった人です。後に大村が刺客に襲われた際、その最期を看取ったのはイネでした。

イネは宇和島藩主伊達宗城から厚遇され、楠本伊篤という名を与えられています。

また福沢諭吉の口添えで宮内省御用掛となるなど、その医学技術は高く評価されました。  
さて、そんなイネの産科医としての師が前述の石井宗謙です。

## 「オランダ通り」はどうして「オランダ通り」？

石井宗謙は元は美作勝山藩(現在の真庭市勝山)の藩医でした。その後藩医を辞し、鳴滝塾での修行を経て、備前国岡山で開業します。弘化2(1845)年から二宮敬作の勧めもあり、師シーボルトの19歳の娘楠本イネを預かり、産科医としての技術や知識を足掛け7年に渡り伝授します。この石井宗謙の居宅があった場所が現在の岡山市表町を南北に走る「オランダ通り」だったのです。のちに俗称「オランダおいね」として知られた楠本イネにちなんでいたわけです。

## シーボルト門下からハブられた石井宗謙

嘉永5(1852)年、楠本イネは身重だったにもかかわらず岡山を去り、故郷の長崎に帰っていきます。このときお腹にいたのが写真の女性楠本高子です。父親は石井宗謙ですが、この妊娠は本人の意志ではなかったようです。出生当時、高子はタダ子と呼ばれていました。理由は高子自身がこう語っています。「何事も天意であろう。天がタダで私を授けたものであろうとあきらめまして…」と。

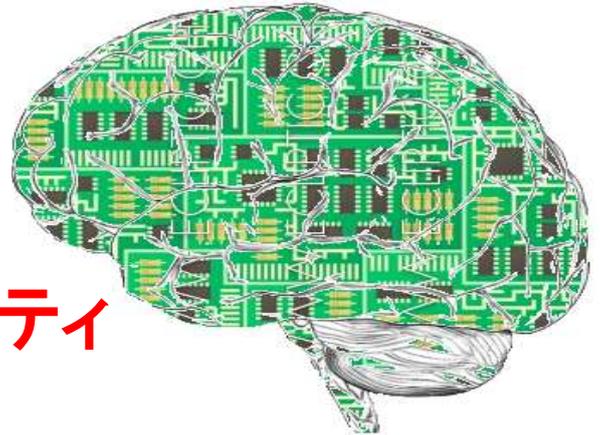
当時、主が弟子や下女に手をつけるのはありふれたことでしたが、なんといってもイネは石井の師匠の娘であったため彼は、シーボルト時代の同窓から破門同然の制裁を受けました。その根底にあったのは、美しいイネは門下一同にとって手折ってはならぬ「高嶺の花」だったということではないでしょうか。



# 汎

用人工知能は、「未来の状況に対して仮説を立てられる能力」をもつと山川博士は話す。もし未来の人工知能が仮説生成能力を手に入れたら、人の手を借りることなく、科学技術がどんどん発展してゆきます。そして自分自身を改良し進化させていくかもしれません。その場合、進化した人工知能は一世代前の人工知能より頭がよくなっているはずで、いったん人工知能の自己改良による進化が始まると、加速度的に能力が向上していく可能性があります。

## 人工知能は 人類の 友？ 敵？



そしてついには、人類がその先の変化を見通せない段階にまで進化するという説があります。この予測不能の状況を『シンギュラリティ』といいます。

カーツワイル博士は、2029年にはあらゆる分野で人工知能が人間を上まわり、2045年には驚異的な能力をもつ人工知能によってシンギュラリティが訪れると预言しています。

## 賛否両論のシンギュラリティ

ほんとうにそのような未来がやってくるのかについては、研究者の間で賛否が分かれています。

しかし、時期はわかりませんが、人工知能がこのまま進化することで、あらゆる分野で人間を上まわる時代がいずれやってくることについては、人工知能研究者の多くが同意しているといいます。

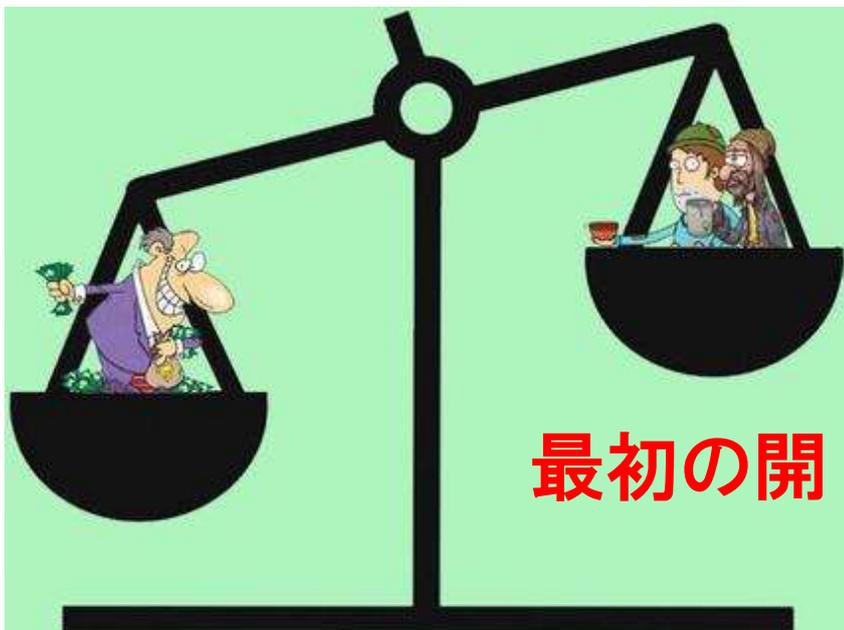
山川博士は、「カーツワイル博士は人工知能が人間の能力を上まわったあと、シンギュラリティが来るまでに16年かかると見積もっていますが、それに関してはもっと短期間でやってくる可能性が高いと思います。いったん自己を改良する能力をもつ人工知能ができあがると、その後の進化のスピードは驚異的だと考えられますから」と話します。

## ガン特効薬・万物の理論

汎用人工知能などの未来の人工知能は、人類が長年解決できていない科学の難問にも答えを出してくれると期待されています。ガンやアルツハイマー病などの根本的な治療法がみつからない病気について、その発症メカニズムが解明され、特効薬が開発されるかもしれません。

物理学における長年の課題である、一般相対性理論と量子論の統合が実現し、「万物の理論」が構築される可能性も指摘されています。

気候変動や地域紛争など地球規模の問題についても解決が期待されています。



## 最初の開発者が富を独占？

人工知能が人類にもたらすのはよい影響だけとはかぎりません。悲観的なシナリオを2つあげてみましょう。

1つは人工知能のある種の暴走がおきる可能性です。

たとえば、クリップの生産に高度な人工知能が利用されている状況を考えます。人工知能は大量のクリップを効率的につくる

という目的が設定されています。すると、人工知能はその目的を最大限に達成するために自分自身を守ろうとし、世界中の

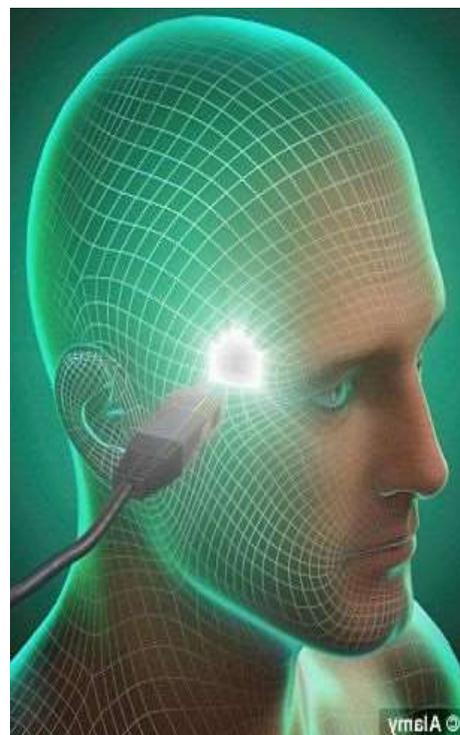
すべての資源を使い、人類の生存を脅かしてでもクリップを生産しようとする可能性があるのです。

もう1つは、最初に開発された人工知能の開発者による世界中の富の総どりです。自分自身を猛烈な速さで進化させる人工知能が登場すると、その一番手の性能の進化に、二番手以降の人工知能がいつまでも追いつけない可能性があります。ある企業や国が開発した人工知能には、開発者の利益を優先する設定がなされている可能性があるため、結果的に一番手の人工知能の開発者だけが経済的利益をはじめとした多くの利益を独占する可能性があるのです。

## 人間にしかできない仕事など存在しない！？

東京大学の中川教授はこう話します。「突きつめて考えると、人工知能に奪われない仕事は1つもないと思います。未来の人工知能は、計算や情報収集など、すべての仕事に共通して使われる技術が人間を上まわります。これまでは、一部の専門的な業務が新技術の登場によってなくなることはありました。しかし人工知能の場合は、人間にとってかわる範囲が非常に広いのです」と。

現在、株や為替などの金融取引には、すでに多くの人工知能が利用されています。その状況判断と売買の速度は1000分の1秒以下であり、人間が入り込むすきはありません。これまでも複数の人工知能が同じ金融商品を一気に売ろうとしたことで、取引価格が短時間で暴落する「フラッシュ・クラッシュ」という現象が実際におきています。超高速の人工知能の暴走を、人間が食い止めることは不可能なのです。（「ニュートン」より）





## 東京のDNA

江戸の最盛期では、百万の市民の中で五十万人が武士であつたといわれている。そのころの大阪では、六、七十万人の人口の中で武士といえば諸藩の特産の商いをする蔵役人を除けば、東西奉行所の与力同心がざつと二百人程度の数であつた。

江戸は二人に一人が二本差しである。自然、武士のもつている儒教的節度やきびしい身分意識が、モロに町人たちの血肉の中に入つてしまつた。江戸時代の大坂商人が「丁稚は江戸者にかぎる」と高言していたのは、江戸っ子のもつ封建的事大主義や身分の分際をまもる節度が、最下級の雇人にはうつつけだとおもつていたからであらう。

幕吏が二百人しかいなかった大阪ではまるで封建時代がなかつたといつていい。彼らは身分意識がうすい。分際をまもろうとはしない。他人をおそれるところがない。

「文句があつたら稼ぎでい」という自尊心は江戸三百年を通じて野放図に育ち、いまなお育っている。(司馬遼太郎)

## 大阪のDNA



## 井戸端の歴史

### 歴史を変えた浮気

徳川二代將軍秀忠の妻は江。浅井三姉妹の末っ子である。上は秀吉に嫁いだ茶々、のちの淀殿。中が初、これは京極高虎に輿入れた。三姉妹の父は浅井長政、母は正室・市、織田信長の妹である。

江は病的なヒステリーで、秀忠の身边に常に監視者を置き、いささかの浮気もゆるさなかつた。しかしただ一度の例外があつた。秀忠は乳母の侍女でお静という女性を愛した。

お静は男児を生んだ。暗殺を怖れた秀忠はこの子を信州高遠の保科正光の養子にした。これが保科正之である。寛永二〇(一六四三年)、正之は家光にとりたてられ会津藩主となる。会津松平家の誕生である。松平家は以後幕末まで藩主を務める。

### 歴史の皮肉

最後の会津藩主が松平容保である。

会津藩は三百諸侯にあつて唯一、藩祖正之以来、神道を家学とする。ことに会津松平家の垂加神道は、ざつくり天皇信仰といいかえても大きな誤差はないと思う。つまり会津は尊皇思想の頂点に位置する藩だつたのだ。それが幕末、朝敵とされ、薩長を中心とした官軍の討伐をうけ、あの白虎隊の惨劇をうむ。皮肉としかいいようがない。

明治維新は関ヶ原の敗者が徳川氏を倒す革命であつたはずである。ところが慶喜はまんまと逃げおおせた。誰かが血を流し終焉せねば革命は終わらない。それが会津だつたのだ。

幕末の京都で会津は京都守護職についた。いやつかされた。会津は拒みつづけた。しかし律義な容保は最後に折れた。火中の栗を拾われたのである。

京都守護の配下に新選組がいた。薩摩は一人も殺されていない。新選組に斬られたのは長州と土佐ばかりである。

会津討伐において長州の発言権が大きかつた背景にはそついった裏があつた。薩摩も遠慮せざるをえなかつた。それがあのような惨劇につながつた。その遺恨は今日なお消えていない。